岩木山の火山活動解説資料（令和８年 10 月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図１～図６）

百沢東監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

８日に青森県の協力により実施した上空からの観測では、湯ノ沢上流、赤沢上流、赤倉沢上流、鳥ノ海火口周辺に噴気や地表面の異常は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図７）

地震活動は低調に経過し、火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図８、図 10）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

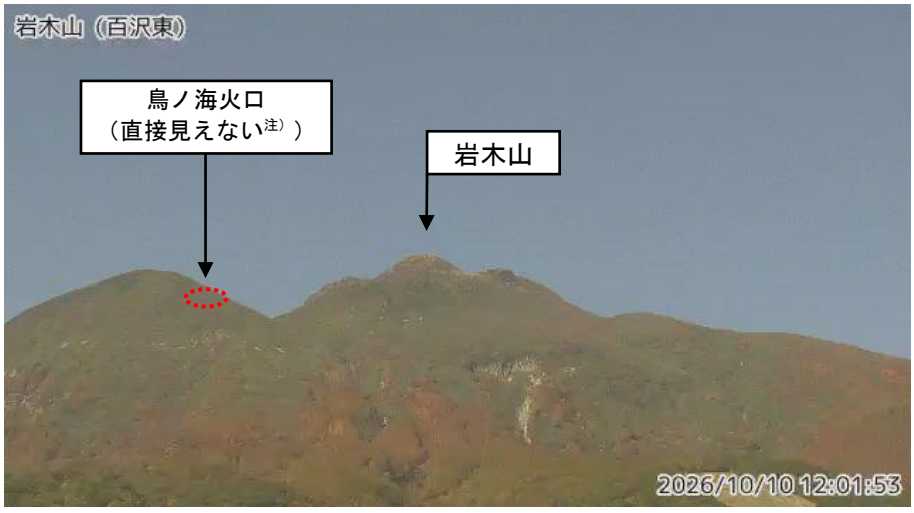


図１　岩木山　山頂部の状況（10 月 10 日）
・百沢東監視カメラ（山頂の南東約４km）の画像です。
注）鳥ノ海火口から噴気が噴出した場合、高さ 50m以上のときに百沢東監視カメラで観測されます。監視カメラからは直接見えませんが、赤破線が鳥ノ海火口の位置を示します。

噴気は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
次回の火山活動解説資料（令和８年11月分）は令和８年12月８日に発表する予定です。
資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html
この資料は気象庁のほか、国土地理院、弘前大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50ｍメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています。

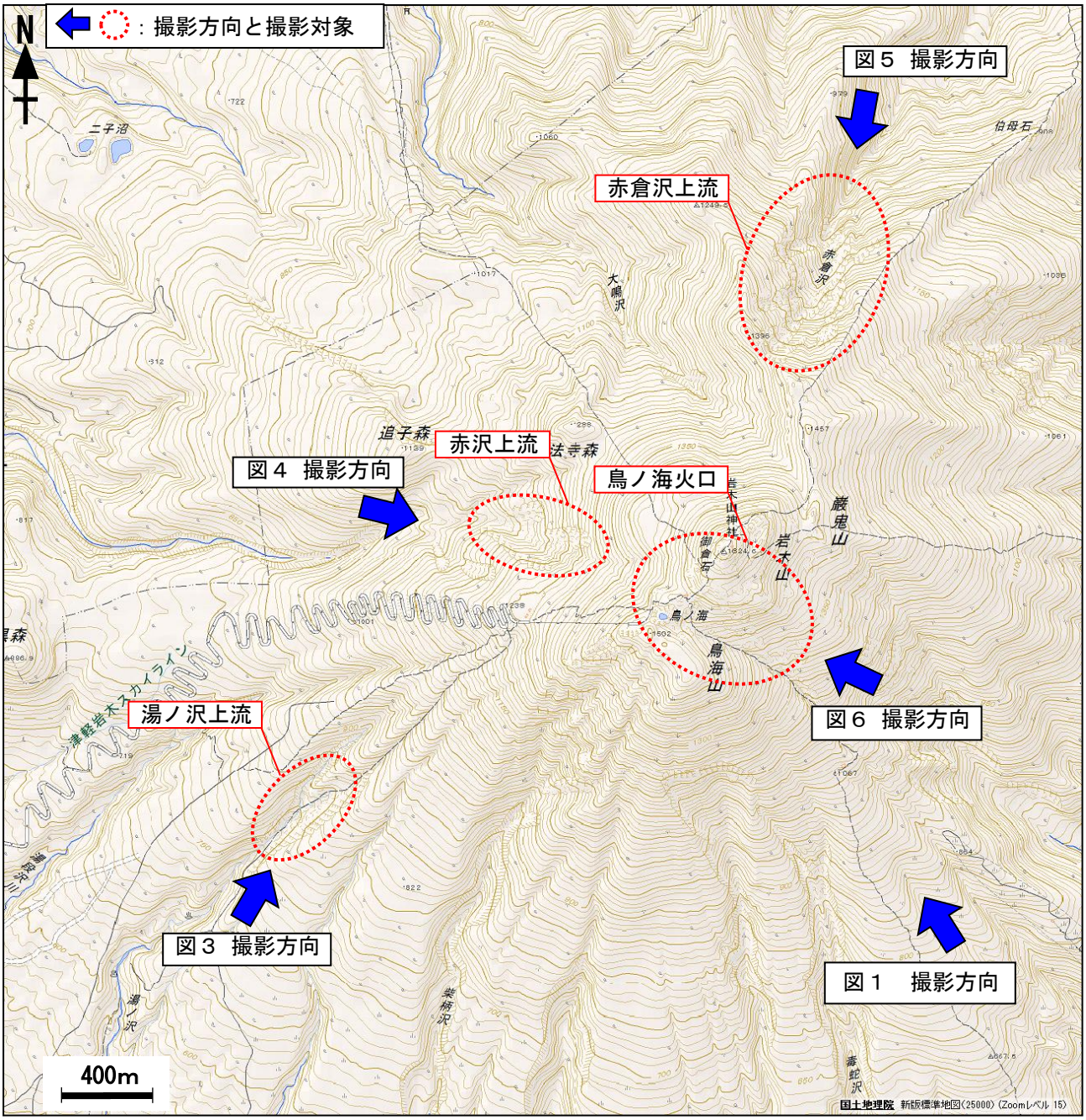


図２　岩木山　写真及び地表面温度分布の撮影方向及び撮影対象

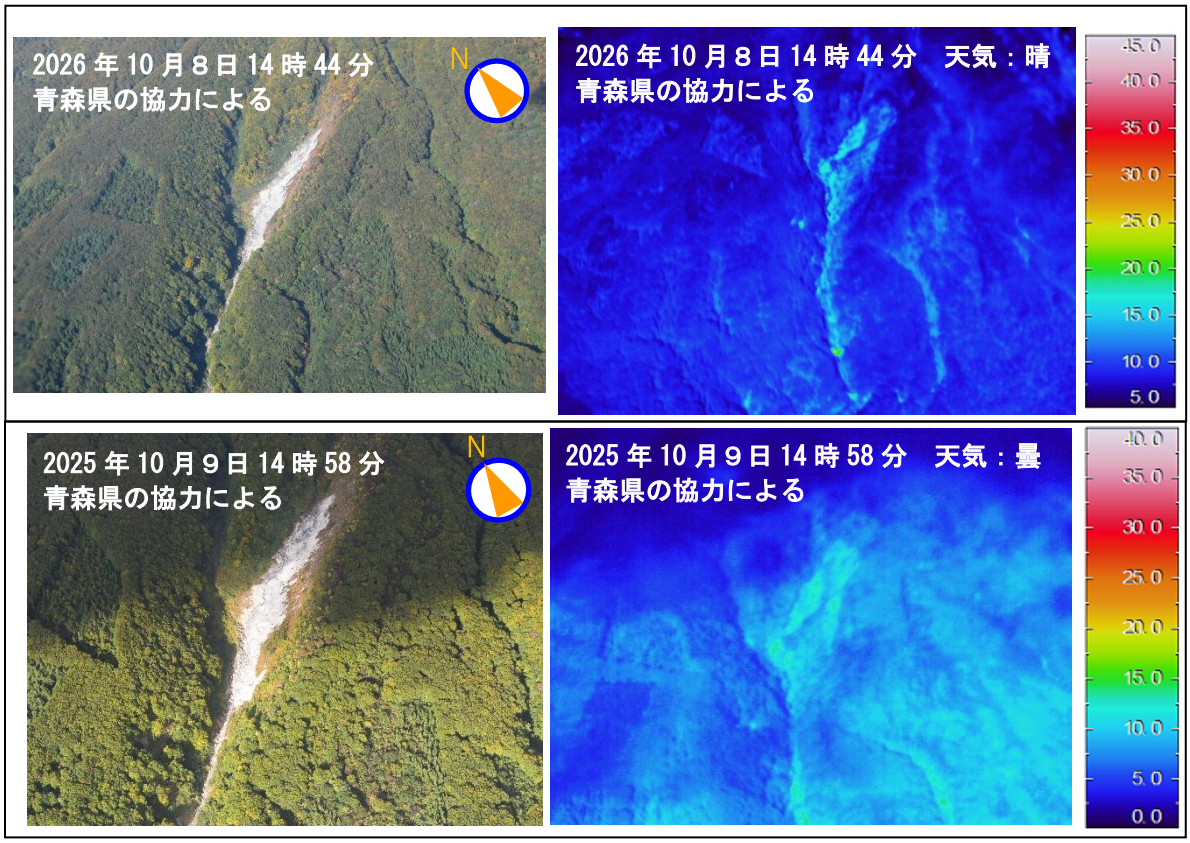


図３　岩木山　上空から撮影した湯ノ沢上流の状況と地表面温度分布
・日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

過去の観測（2025 年 10 月９日）と同様、明瞭な地熱域は認められませんでした。

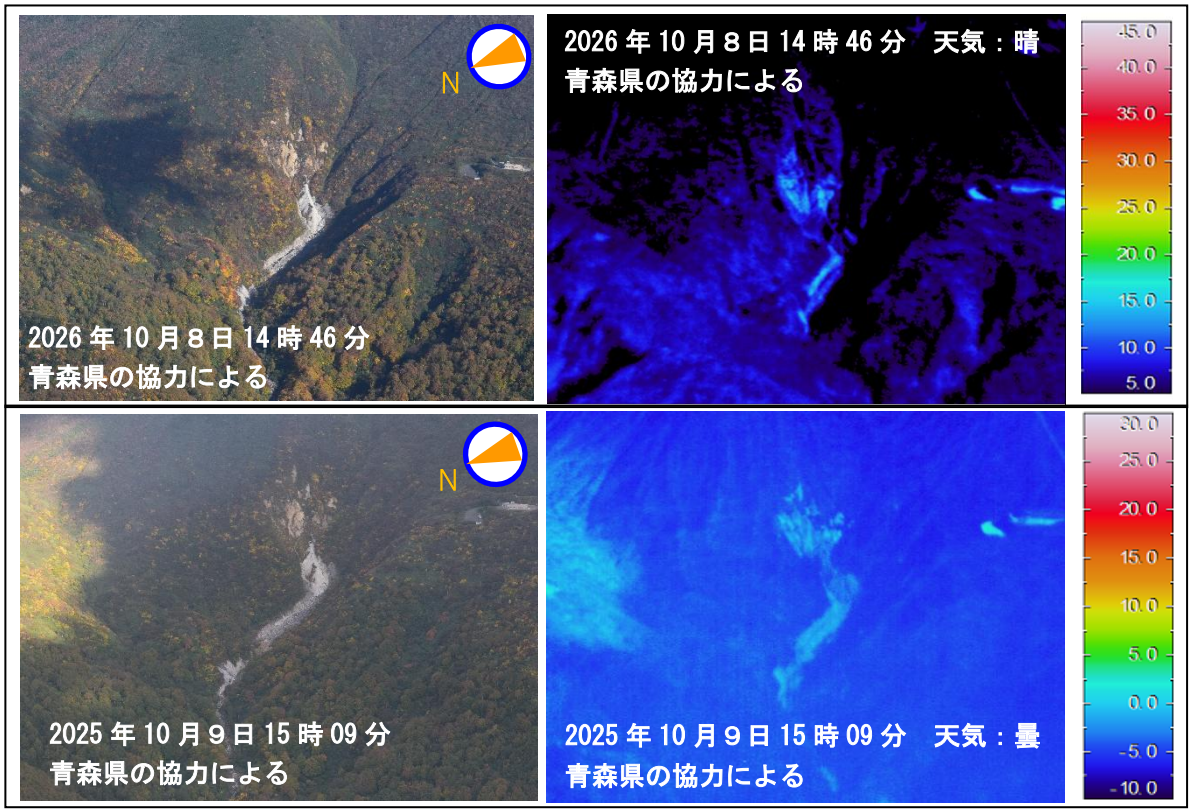


図４　岩木山　上空から撮影した赤沢上流の状況と地表面温度分布
・日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

過去の観測（2025 年 10 月９日）と同様、明瞭な地熱域は認められませんでした。



図５　岩木山　上空から撮影した赤倉沢上流の状況

過去の観測（2025 年 10 月９日）と同様、地表面の異常は認められませんでした。



図６　岩木山　上空から撮影した鳥ノ海火口周辺の状況

過去の観測（2025 年 10 月９日）と同様、地表面の異常は認められませんでした。

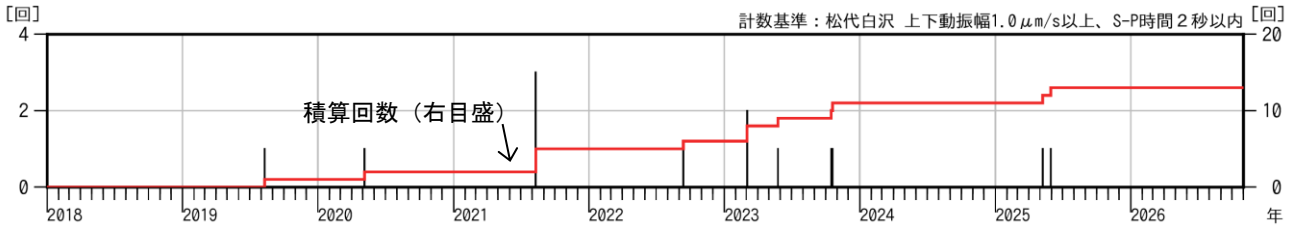


図７　岩木山　日別地震回数（2018 年１月～2026 年 10 月）

地震活動は低調に経過し、火山性微動は観測されませんでした。

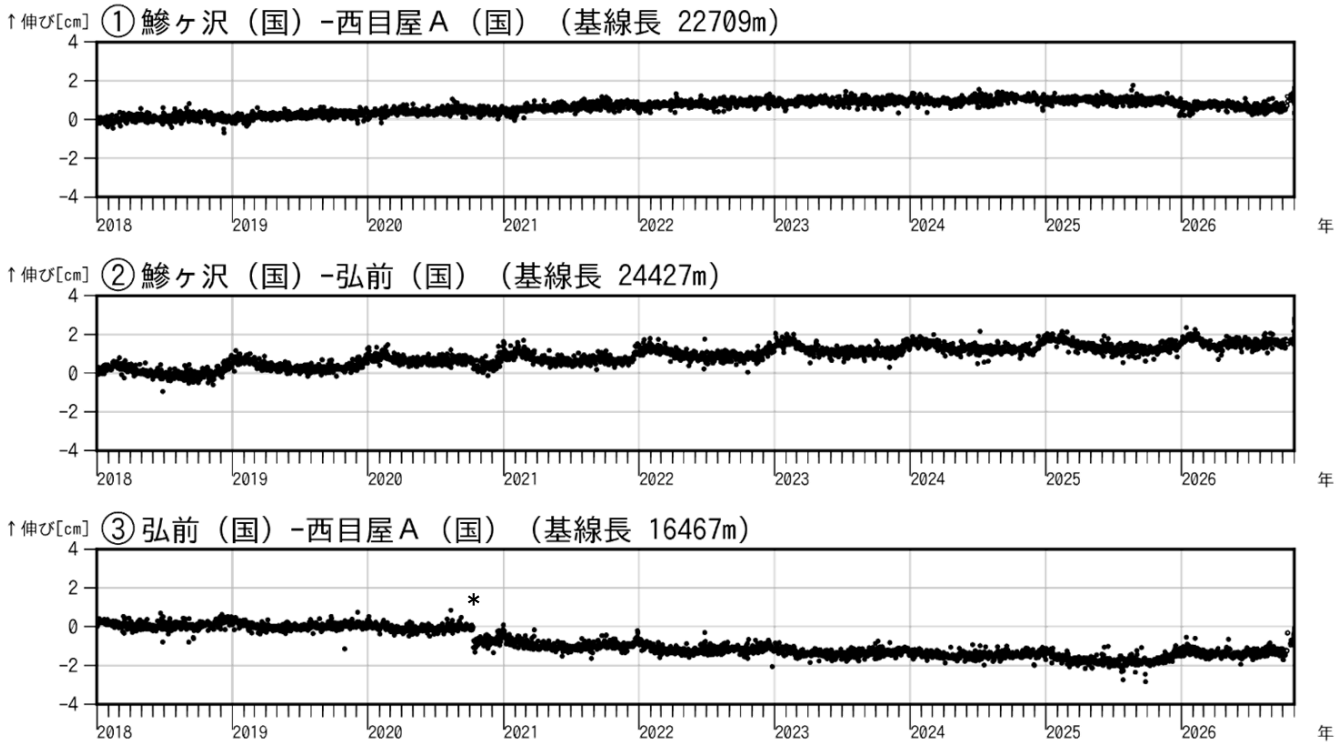


図８　岩木山　GNSS 基線長変化図（2018 年１月～2026 年 10 月）

・①～③は図 10 の GNSS 基線①～③に対応しています。
・（国）は国土地理院の観測点を示します。
・2025 年 12 月８日の青森県東方沖の地震及び 2026 年４月 20 日の三陸沖の地震に伴う変動が一部の基線に含まれていると考えられます。
＊：基線③の 2020 年 10 月の不連続は、機器の交換に伴うものです。

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

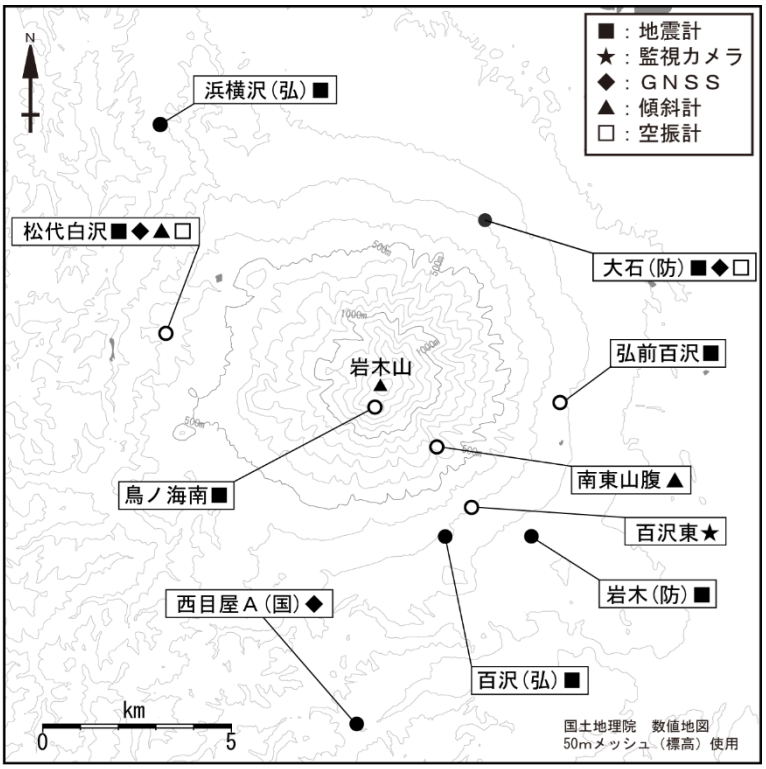


図９　岩木山　観測点配置図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院　（弘）：弘前大学
（防）：防災科学技術研究所

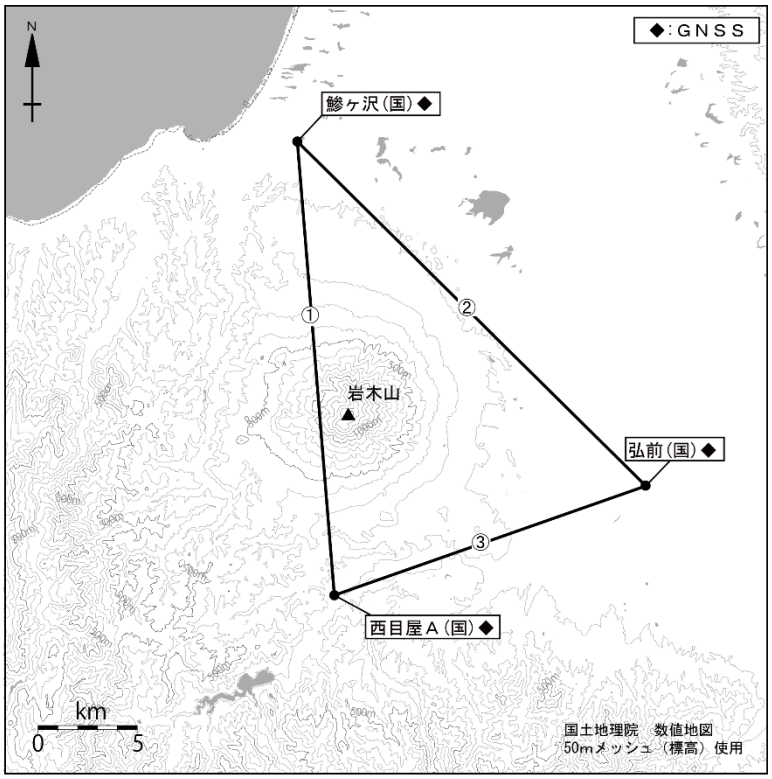


図 10　岩木山　GNSS 観測基線図

黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院